

岩手県内の水稻の出穂状況（8月5日現在概況速報）について

農業普及技術課 農業革新支援担当

1 水稻の出穂状況（県内農業改良普及センターによる一斉調査）

- （1）県内の水稻の出穂始期（10％）は平年に比べ2日早い7月29日頃と推定されます。
- （2）8月5日現在、県全体の出穂割合は64％（平年差0ポイント）となっており、出穂盛期（50％）は平年並の8月3日頃と推定されます。

表 地帯別 水稻の出穂状況（8月5日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	本年	出穂割合（％）				出穂時期（月／日） ²⁾					
		過年次同時期				始期 盛期 終期			平年差（日） ³⁾		
		平年	R7	R6	R5				始期	盛期	終期
北上川上流	68	62	83	84	71	7/29	(8/2)		-2	(-2)	
北上川下流	64	66	80	90	85	7/29	(8/3)		-2	(0)	
東 部	44	55	77	81	65	8/1			1		
北 部	53	57	98	95	72	(8/2)	(8/5)		2	(2)	
県 全 体 ¹⁾	64	64	82	89	80	(7/29)	(8/3)		(-2)	(0)	

1) 県全体…地帯別の水稻作付面積比による加重平均。
2) 出穂時期…始期：10％、盛期：50％、終期：90％の水田で出穂した日。（ ）内は未達の市町村を含むため推定値。
3) 平 年…平成28年～令和7年の10ヵ年の平均値。

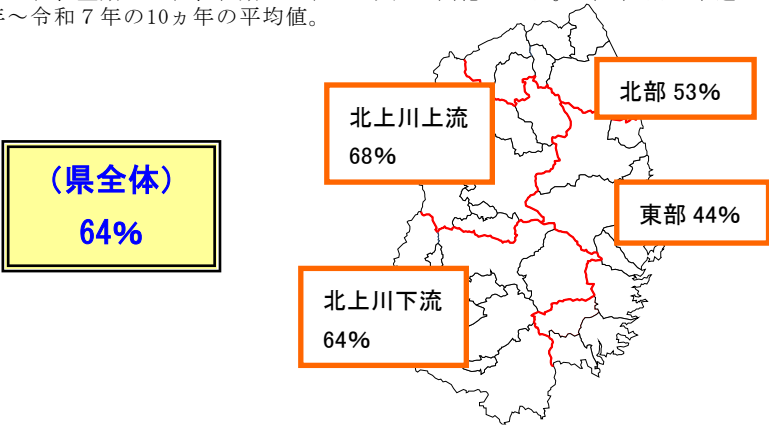


図 水稻の地帯別出穂割合（8月5日現在、各農業改良普及センター調べ）

2 当面の技術対策

高温による登熟不良や品質低下を防ぐため、水管理や防除等を徹底します。

- （1）水管理
出穂期は、浅水管理とします。
登熟前半は高温が予想されるため、間断かんがい（数日間隔で湛水・落水を繰り返す）や、土壌を湿润状態に保つ管理を行うなど、地域のかんがい水の状況に応じた水管理を徹底します。
- （2）穂いもち防除
いもち病（穂いもち）の発生量は「やや少」の見込みです¹⁾。
ほ場を観察し、上位葉に葉いもちの発生がみられる場合は、茎葉散布を実施します。
- （3）斑点米カメムシ防除
斑点米カメムシの発生量は「多」の見込みです^{1), 2)}。
穂揃期の1週間後の薬剤防除を徹底します。なお、地域一斉に防除すると効果が高まります。
- （4）適期刈取りの準備
高温により刈取り時期が早まることが予想されますので、適期刈取りに向けた準備を進めます。

参考 1) 令和8年度農作物病害虫発生予察情報 発生予察 第5号（8月予報）（岩手県病害虫防除所 2026. 7. 30）
2) 令和8年度病害虫発生予察情報 注意報第4号（岩手県病害虫防除所 2026. 7. 28）